

全日本18マラナ・タ フォロワーアップ

全国161か所で収穫のための講演会が行われました。ここでおおぜいの人たちが、バプテスマを受けて教会に加わりました。しかし、これまでの統計では、新しくバプテスマを受けた人たちが教会に定着することについて、あまりうれしい数字が出ていません。今回バプテスマを受けて、神の家族に加わったすべての人たちが、キリストの弟子として成長し、さらに、あかし人として周りの人たちの救いのために出ていくことができるように、しっかりとしたフォロワーアップの計画を立てて実行していくことは、とても大切なことです。

昨年行われたロン・クルーゼ先生のフィールドスクールで、バプテスマを受けた後の8週間のフォロワーアップの計画が提示されました。各教会でもバプテスマ後のフォロワーアップの計画として参考にしてください。まず、新しく教会員になった人の「霊的な相談係」を決めましょう。詳しくは、本誌4月号23ページをご覧ください。

バプテスマを受けることがゴールではありません。キリストの成熟した弟子を育てることが、私たちの目的です。種まきや収穫と同じぐらい、その後のフォロワーアップと弟子として育成することは大切です。ぜひ、祈りつつ取り組んでまいりましょう。

新しくバプテスマを受けた人たちが
キリストの弟子として
成長することを助けましょう

基本原則と基本方針

- ① 霊的な相談係の役割は、新教会員を助けることにある
 - 霊的成長を手助けする
 - 他の教会員とのつながりや交流の機会を設ける
 - 教会の使命や文化に調和させていく
- ② 霊的な相談係は、新教会員の育成に関与する
 - バプテスマ後の1年間、この役割に献身する
 - 新教会員にとっての最初の8週間には、特別な働きかけを行う
- ③ 霊的な相談係は、毎週の交わりを準備する。最低でも1週間前から、その目的、活動、資料の確認を行う。時には、聖書の学びを準備する必要があることも覚えておく
- ④ 霊的な相談係は、経験豊かなアドベンチスト教会員で、人々を愛し、新しい教会員がキリストにあって成長することを助け、彼らに完璧を求めない人でなければならない。この計画を忠実に行えば、霊的な相談係自身も霊的成長にあずかることができる
- ⑤ 霊的な相談係は、最初の8週間の後で交わりをやめてしまうことがないよう注意する。長期にわたって新教会員との関係を築き、単発的になってしまうとしても、定期的に連絡を取り続けるようにする

⑥週ごとの交わりのポイント

- 1週目 所属教会との関係作り
- 2週目 個人的な霊的成長
- 3週目 安息日の過ごし方への取り組み
- 4週目 アドベンチスト教会の使命とその活動範囲
- 5週目 健康的な生活への取り組み
- 6週目 エレン・ホワイトの役割の確認と明確化
- 7週目 小グループへの参加
- 8週目 個人伝道とあかし

⑦霊的な相談係は、新教会員の助けとなる聖書の学びや、教会になじむために助けとなる資料を、毎週持参すること。これらは適切な予算と新教会員の必要に即したものがよい

1週目の交わり

目的 キリストの体である教会にあらためてなじむ
参照聖句 ヘブライ人への手紙10章25節



霊的な相談係の務め

- ① 理想的には、新教会員の自宅を訪問する。それが難しい場合は、教会もしくは別の場所であう
- ② 最初の交わりは必ず、バプテスマから3、4日以内に行うこと。あなたが霊的な相談係であることを伝え、その際に訪問の日程を調整する
- ③ バプテスマの決断が正しく賢明であったことを、聖書を用いて証明する。教会からバプテスマ証明書はまだ渡していない場合は、ここで渡す
- ④ バプテスマ時に受け取った『教会生活ガイド』の1ページ目、「バプテスマおめでとうございます」をいっしょに読む

⑦ 教会のフォロワーアップ集会への出席を再度、勧める
オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』8～11、28～31ページ
- ・『みことば手帳』（福音社）
- ・『安息日学校聖書研究ガイド』（教団発行）
- ・『安息日学校聖書研究ガイド副読本』（教団発行）
- ・『今日の光』（教団家庭部発行）

3週目の交わり

目的 安息日の真実と祝福の確認と明確化
参照聖句 エゼキエル書20章20節



霊的な相談係の務め

- ① 安息日の教えと祝福を確認する。安息日が、黙示録にある獣の印の対極にある神の刻印であること（ヨハネの黙示録7、13章）
- ② 安息日の守り方で既に学んだ原則に焦点を当て、教会出席以外の安息日の活動に招く（公園への散歩や病気の人の訪問等）
- ③ 安息日遵守を妨げるものがあるか尋ねる（仕事、買い物、習慣、テレビ鑑賞等）。もしあれば、それらの問題を避ける方法をいっしょに探す。再び、神に信頼し、すべての必要を満たしていただくことに着目し（マタイによる福音書6章33節）、安息日への適切な活動を共に探す
- ④ もし、仕事のために安息日遵守が困難であれば、牧師に助けを求め、ため連絡をとり（家にいる時に電話をする）、助けが用意されていることを保証する。多くの国では、宗教の自由は法律によって守られている
- ⑤ 何週間かは金曜日に安息日の備えを伝えるため、電話することを申し出る。新教会員は安息日の備えに慣れる必要がある。安息日の備え方を提案することで、日没から始まる安息日を聖なる日として捉

- ⑤ 礼拝や教会のさまざまなプログラム、伝道活動について説明する
- ⑥ 平日の集会や安息日礼拝、次の教会行事に誘う
- ⑦ 可能であれば、あなたの自宅での食事会に誘う。その際、教会での輪を広げるため、良い友人となれそうな他の教会員も誘う
- ⑧ フォロワーアップ集会のことを伝え、そこにあなたもいっしょに参加することを約束する
- ⑨ しばらくの間は毎週、交わりの時を持つことを提案する。その際、**a** 励まし、**b** クリスマスチャンとしての成長を助け、**c** 質問に答え、**d** キリストの体につながる助けを行うことを伝える
- ⑩ 彼らとその家族のために祈る。交わりのたびにそうする

オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』2、3、22、23、26、27、34～39ページ

2週目の交わり

目的 励まし、霊的成長を導く
参照聖句 ペトロの手紙2・3章18節



霊的な相談係の務め

- ① 現在の心境を尋ねる。神が彼らを導かれ、将来への希望を与えてくださることを保証する
- ② マタイによる福音書11章28～30節やヨハネによる福音書6章37節、ヨハネの手紙1・5章12節といった聖句を用いる
- ③ 喫煙や過度な装飾品等の問題があるとしたら、聖書を用いながら、優しく対応する。必要であれば、テーマに沿った資料を読んだり、観たりする
- ④ 神への信頼により与えられる力に焦点を当てる（フィリピの信徒への手紙4章19節、ヨハネの手紙1・5章4節）
- ⑤ 日ごとのデイポジションを提案する。自らの例や他の教会員の例を挙げる
- ⑥ 最適な小グループがあれば、個人的成長のために出席を勧める

えることができるようになる

オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』20、21ページ
- ・『いいえ、安息日は土曜日です』（マーク・フィンレー、福音社）

4週目の交わり

目的 アドベンチスト教会の使命や活動範囲、
また聖餐式の実践について全体像を表す
参照聖句 ヨハネの黙示録10章11節



霊的な相談係の務め

- ① 地図を用意するか、教団ホームページにアクセスし、アドベンチストの働きや使命の広がりや全貌を示す。これは、キリスト再臨前の神の残りの民について預言された働きであることを伝える（ヨハネの黙示録12章17節）。世界を再臨に備えさせるため、神がこの教会を設立されたことを確認する
- ② アドベンチストの雑誌を用意し、啓発的で助けとなる特定の実話や記事を見せる
- ③ ミラー運動（1840年代初期）から、大失望後に至る聖書研究や祈りから教会が始まり（1840年代後半）、教会組織が設立された（1860年代）、驚くべき発展（1870年代から1900年代）を遂げ、世界的規模に広がったこと（世界で1800万人）を振り返る。相談係はアドベンチストの歴史を振り返っておく必要があるかもしれない
- ④ 世界総会（世界中の教会を13の地域に分けた総称）や支部（地域に分けられた教団の総称）、教団（教会の集まり）が何であるかを説明する
- ⑤ 什一の封筒を用意し、使い方を説明し、見本として差し上げる。神の忠実な約束として、マラキ書3章8～11節を読む
- ⑥ 主の晩餐である聖餐式を強調し、新約聖書に登場する聖餐式やバプ

テスマの儀式も説明する。洗足式(ヨハネによる福音書13章1〜17節)の実践はバプテスマを常に思い起こす行為であり、主の晩餐はイエスが私たちの身代わりとなられた犠牲であることを思い起こす行為であると理解できるように助ける(マタイによる福音書26章26〜29節、コリントの信徒への手紙1・11章23〜26節)

⑦ 教会で次にいつ聖餐式があるかを確認し、その際はいっしょに参加するよう誘う。洗足式もいっしょに行う

オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』4、5、32、33、12、13、54、55、24、25ページ
- ・『キリスト教2000年の歴史』(山形正男、福音社)
- ・『アイデンティティーを求めて』(ジョージ・ナイト、福音社)
- ・『アドベンチスト・ライフ』(福音社)

5週目の交わり

目的 健康や清い食物の聖書的教えの確認と明確化

参照聖句 コリントの信徒への手紙1・10章31節



霊的な相談係の務め

- ① 聖霊の宮となる私たちの体について聖書が述べている箇所を確認する(コリントの信徒への手紙1・6章19、20節)
- ② 私たちの人生において聖霊の働きにもっと敏感であるために、私たちの心と体を整えることがいかに大切であることを伝える
- ③ どの食べ物も清く、また清くないものかを確認し、必要であれば、私が私たちの体に清くないとされた食べ物の名前を確認する(レビ記11章、申命記14章)
- ④ 「アドベンチストのベジタリアン人口は50パーセント以下であるにもかかわらず、それ以外の人々より、男性で8年、女性で11年長生きだ」という健康と長寿に関するアドベンチストの統計を伝える
- ⑤ 彼らの家で食料理を作る計画を立てる。彼らの家で行うのが理想である。その週のひとつ前の交わりの中で料理講習を申し出る

- ⑥ エレン・ホワイトや彼女の伝道を敵視し、彼女をウェブサイトで攻撃している人がいることを警告する。公式ウェブサイト(日本語のサイトもあれば同様に)にアクセスし、↓www.whitestate.org それらの問題や答え、オンライン書籍やスタディガイド、バイオニアたちの物語を紹介する
- ⑦ エレン・ホワイトの人生から信仰の物語を学ぶ。相談係は事前に情報を得ておく

オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』44、45ページ
- ・『エレン・ホワイトをどう読むか』(ジョージ・ナイト、福音社)
- ・『エレン・ホワイト その生涯とメッセージ』(山形正男、福音社)

7週目の交わり

目的 小グループや聖書研究への参加

参照聖句 使徒言行録2章41〜47節



霊的な相談係の務め

- ① キリストの体の一員となることの特権を伝える。コリントの信徒への手紙1・12章を読む
- ② 使徒言行録の新しい信者たちがどのように学び、交わりを持ったかわかちあう(使徒言行録2章41〜47節)
- ③ 伝道的な小グループや聖書研究に参加するよう招く。もし参加できないような小グループがあれば、教会の他の1組か2組の家族を招いて、いっしょに始めることも検討する
- ④ これは教会主体のフォローアップ集会が終わった後に行うのが望ましい。新会員は、み言葉の学びにより信仰を受け入れるに至ったことをグループ聖書研究でも覚えておく。このことは常に心に留めておかなければならない。

オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』2、3、30、31ページ

オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』28、29ページ
- ・『明日の健康をつくる今日の習慣』(福音社)
- ・『おいしくて体にいい穀菜食レシピ』(福音社)
- ・『ミニストリー・オブ・ヒーリング』(エレン・ホワイト、福音社)
- ・『トータルヘルスへの12の鍵』(福音社)
- ・『サインズ・オブ・ザ・タイムズ』(福音社)

6週目の交わり

目的 教会におけるエレン・ホワイトの役割の

明確化と広がり

参考聖句 歴代誌下20章20節



霊的な相談係の務め

- ① あかしの書を3、4種類用意する(『キリストへの道』、『各時代の希望』、『各時代の大争闘』など)
- ② 預言の霊の聖書的教えを確認し、神がいつもご自分の民に預言者を通じて語りかけておられたという事実を強調し、預言の働きが終わりの時代における神の残りの民の特徴となることを確認する(ヨハネの黙示録12章17節、19章10節)。必要であれば、テーマに沿った資料を読んだり、観たりする
- ③ アドベンチストの歴史の概略を復習する。その中でエレン・ホワイトの若いころの役割について確認する。最初の幻や母や妻、預言者としての葛藤等の物語を伝える。英文が読めるようであれば、www.whitestate.org のサイトも情報源として役立つ。日本の教団でも助けとなるリンクを提供している*
- ④ 教育(カトリック教会を別とすれば世界最大の組織である)、医療、宣教拡大にあかしの書がどれほど大きな影響をもたらしたかを伝える
- ⑤ 『キリストへの道』や『各時代の希望』といった書物を少しいっしょに読んでみる

- ・『小グループで学ぶヨハネによる福音書』(金棋坤、福音社)
- ・『よくわかるヨハネの黙示録』(金棋坤、福音社)
- ・『ひとりぼっちのいない教会』(カート・ジョンソン、福音社。霊的相談係が、小グループについて学ぶ際に最適)

8週目の交わり

目的 個人伝道やあかし人となることを教え、励ますこと

参照聖句 マタイによる福音書28章18〜20節



霊的な相談係の務め

- ① 大宣教命令とキリストの弟子となることの意味を再確認する(マタイによる福音書28章19、20節、使徒言行録1章4〜8節)
- ② 法廷で証言するかのように、見たり聞いたりしたことをわかちあうことが「あかしする」ことであることを理解するよう助ける。あかしは、改心した人や教会員にとって日常的に見られる行動であることを伝える
- ③ 家族や友人にどのようにわかちあっているか尋ねる。これは彼らにとって自然な行為である。励まし、その方法について助言する
- ④ さらに効果的にあかしできる助けとなるトレーニングプログラムや、家族や友人を誘えるような教会のイベントを知らせる
- ⑤ 聖書研究のセットを持っていく。どのように用いるか伝え、どこで手に入るかを教える

オススメの資料

- ・『教会生活ガイド』14〜17、56、57ページ
- ・各種、聖書通信講座(VOP)バイブルスクール
- ・『みことば手帳2 全員参加伝道編』(福音社)
- ・『サインズ・オブ・ザ・タイムズ』(福音社)
- ・『やさしい聖書入門1〜4』(教団発行)
- ・『どこにもない道 牧師による救いのあかし集』(福音社)
- ・『あなたのための全員参加伝道手帳』(教団伝道局発行)

※『やさしい聖書入門1〜4』(Grace(グレイス)、Joy(ジョイ)、Peace(ピース)、Love(ラブ)) (2000〜2001年制作、B5判)の在庫については、アドベンチスト・ブックセンターに直接お問い合わせください。

※<http://adventist.jp/> この教会について/エレン・G・ホワイトの著作の霊感と権威/